

第3回 フォローアップ講習会（育児）

「育児 保育の心 Ⅱ」

平成30年8月21日（火）10時より提供会員さんを対象にした第3回フォローアップ講習会が開催されました。

松山東雲学園附属幼稚園 副園長 田中 洋子 先生をお招きして、「育児 保育の心」をテーマにお話をいただきました。

絵本の読み聞かせ 「ひまわり」「きみがいま」



子どもたちは、石や段ボールなど、そこにある物なにもかもを遊びにかえてしまいます。その時その時を一生懸命生きています。

これから皆さんにも夢中になることをしてもらいます。

積み木で遊ぶ



各自自由に



グループで高く作ろう



ドミノ作りに挑戦

5～6人のグループになり、積み木を楽しみました。まず、一人一人が思いのままに積み木で遊びました。次に、田中先生から「グループで高く作ろう」と呼びかけがあり、グループでアイデアを出し合いながら、高く積んでいきました。だんだん参加者の目が真剣になり、笑い声の中にも緊張感が漂ってきました。各グループに配られた積み木を使い果たし、できるだけ高く積み上げ、みんな満足そうです。

次は、積み上げたものを崩さないよう、積み木を一つずつ抜いていきました。各グループから歓声が上がります。

最後にドミノ倒しを楽しみました。

ほとんどの参加者にとって、久しぶりの積み木遊び。童心に帰って夢中になって積み木を遊びを楽しみました。

絵本の読み聞かせ

「ちょっとだけ」「いい子ってどんな子？」



下の子が生まれた時のお姉ちゃんの心の動き、子どもの寂しい気持ちやちょっとだけ頑張ろうという気持ちを母親が受け止めるお話です。

子どもたちは、いろいろな思いをもって毎日生活しています。その思いに寄り添う事が大切です。

子どもの行動の表面だけ見るのではなく、その背景に目を向けることが大切です。

また、大人に大切にされているという気持ちをもてば、大人を信頼します。



育児支援の大切さや必要性、子どもと信頼関係を築くことの大切さなど、ご自分の経験を基に、分かりやすくお話をさせていただきました。

先生のお話から、子どもが大好きというお気持ちがひしひしと伝わり、心温まる講習会でした。

最後に読み聞かせをしていただきました。

「サンドイッチ サンドイッチ」「おにぎり」「くだもの」

田中先生「子どもは食べ物の本が大好きです。」



参加者の声

- 年齢に関係なく、子どもに常に目を向けて気づいてあげることが大切だと思った。
- 私にとって絵本の読み聞かせは、子どもの想像力、創造性、集中力を養うのにとっても役に立ったと思う。子どもを絵本の中の主人公にしてあげるだけで、ものすごい世界をつくりあげてくれた。
- ファミリーサポートでは、自分の子どもではないので、本を破った時の叱り方や対応の仕方などが難しい。その子の特性に合わせて見守ることも必要だということがわかった。
- 先生の子どもを慈しむ心や成長を応援する心がよく伝わった。
- 子どもに寄り添うお手伝いをしていきたい。